
信じて。

都神紗茅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

信じて。

【Zコード】

Z6821C

【作者名】

都神紗茅

【あらすじ】

新一が組織と決着をつける数日前の出来事として、突発的に書いた蘭の一人称小説。

「大丈夫だよ」

もう言つのにも、いい加減疲れたの。まだ帰れない、もう少し待つてくれ。止めてよ。これ以上、そういう言葉をわたしに言つのは。

窓の外からは、台風の影響で吹いている強風が雨に勢いづける音が聞こえる。まるで、今荒れているわたしの心みたいね。どうして電話やメールの返事をくれないの？ と携帯に問い合わせても、何も返つてこない。分かつてるよ、そんなこと。わたしを呼ぶのは携帯じゃなくてその向こうにいる人だもの。

一ヶ月は連絡していないのよね。何だか嫌な気がする。なんでかな。わたしだけが何も知らされていないから？

コナン君に心の一部を投げかけると、いつだつて同じことを言つ。

「新一兄ちゃんは絶対帰つてくる。だから、僕を信じて」

そんな辛そうな表情で言わないで。いつものコナン君らしく、まっすぐで自信満々な瞳でわたしを貫いてよ。そうすれば、今のわたしがついなくなってくれるかも知れないんだよ。

後ろにある扉の開閉音が聞こえて後ろを振り向く。コナン君だ。

今もやつぱりあの表情じゃない。

お願いだから、そんな顔でわたしを見ないでよ。

「蘭姉ちゃん、泣いてる」

本当だ。わたし、いつの間にか泣いてたんだ。全然気づかなかつた。

「大丈夫、ちょっと目に塵が入っちゃっただけ」

また強がっちゃった。大丈夫なんて言い疲れたくせに。大バカね、わたし。辛うじて笑顔を見せたつもりだったけど、やつぱりもたないよ。

視界が涙でぼやけて、コナン君の表情も見えない。これで……ううん、これがいい。

「泣くな」

子供らしくないコナン君は、何故か分からぬけどビリしても新一と被っちゃう。

「つて、新一兄ちゃんなら言ひと思つよ」

語尾が曖昧なくせに、どうして確信を持った口調に聞こえるんだ
る？ 分からない。

そんなこんなで悩んでるうちに、コナン君は事務所を出でていって
しまった。パタン、と寂しげに響いた鉄製の扉の音が耳に残った。
それから何分たつたか分からぬけど、携帯が着信を知らせた。

「もしもし」

『よお蘭、元気か？』

一ヶ月ぶりに聞けた、生意気そうな新一の声。凄く嬉しい。今ま
では電話をかけてもメールをしても返事は返つてこなかつたもの。
でも。

「バカ、一ヶ月もビリじてたのよ？ 心配してたんだから」

『ちよつと事件で色々あつてよ。それよりお前、泣いてんだけ？』

コナン君に聞いたのかな。電話が来るまで何分か間があつたし。

「だ、だから何？ わたしがいつビリで泣くのが新一には関係ない
じゃない」

『オマーが泣いたら、口ナシが迷惑すると思つてよ』

何よ。

「アハハハハ新一は冗談ばっかり……もつこに加減にしてよ
ー。」

何も聞ひえていな。やつぱつと過ぎたんだよ。

『やつだよな。『メン…でも、もつあぐで事件も解決しあつなんだ。
だから、それまで』

マッテテクレ?

頭に浮かぶ文字。いつもとせつぱん同じなんだね。また泣こいや
いやう。わたし、弱いのかな。

『オレを信じてくれ』

あれ?微妙に違う。それでも、いいかな。

「うん

わたしも、新一を信じてみるよ。それまでは待つか。
だから……。

(後書き)

一人称初挑戦だつたんですが、やはり難しいです…。

実はこの小説を書き始めるきっかけになつた曲があるんですが、分かつた方はいらっしゃいますかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6821c/>

信じて。

2011年1月15日03時19分発行